

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

2019年6月14日、株式会社エイチームは2019年7月期第3四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (百万円)	FY07/17				FY07/18				FY07/19				FY07/19	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	(進捗率)	通期会予
売上高	7,136	8,147	9,907	9,413	8,904	9,165	10,270	9,336	8,927	9,597	9,504			
前年比	54.8%	50.3%	60.3%	39.3%	24.8%	12.5%	3.7%	-0.8%	0.3%	4.7%	-7.5%			
売上総利益	6,031	6,926	8,235	7,741	7,428	7,515	8,311	7,460	7,162	7,719	7,545			
前年比	56.8%	50.7%	58.6%	35.4%	23.2%	8.5%	0.9%	-3.6%	-3.6%	2.7%	-9.2%			
売上総利益率	84.5%	85.0%	83.1%	82.2%	83.4%	82.0%	80.9%	79.9%	80.2%	80.4%	79.4%			
販管費	5,738	6,196	6,487	6,435	6,464	6,422	6,558	6,568	6,677	7,027	6,547			
前年比	72.5%	39.2%	47.7%	29.5%	12.7%	3.6%	1.1%	2.1%	3.3%	9.4%	-0.2%			
売上高販管費比率	80.4%	76.1%	65.5%	68.4%	72.6%	70.1%	63.9%	70.4%	74.8%	73.2%	68.9%			
営業利益	293	729	1,748	1,307	964	1,093	1,752	892	484	693	998			
前年比	-43.7%	404.4%	118.9%	74.6%	228.4%	49.9%	0.2%	-31.7%	-49.8%	-36.6%	-43.1%			
営業利益率	4.1%	9.0%	17.6%	13.9%	10.8%	11.9%	17.1%	9.6%	5.4%	7.2%	10.5%			
経常利益	292	779	1,738	1,309	981	1,096	1,776	878	507	661	1,009			
前年比	-40.8%	591.7%	131.2%	77.7%	235.3%	40.8%	2.1%	-32.9%	-48.3%	-39.7%	-43.2%			
経常利益率	4.1%	9.6%	17.5%	13.9%	11.0%	12.0%	17.3%	9.4%	5.7%	6.9%	10.6%			
当期利益	138	538	1,162	741	678	755	1,218	655	257	484	359			
前年比	-52.6%	3043.6%	142.2%	47.0%	390.9%	40.3%	4.8%	-11.6%	-62.1%	-35.9%	-70.5%			
当期利益率	1.9%	6.6%	11.7%	7.9%	7.6%	8.2%	11.9%	7.0%	2.9%	5.0%	3.8%			
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	(進捗率)	通期会予
売上高	7,136	15,283	25,190	34,603	8,904	18,069	28,339	37,674	8,927	18,524	28,028		75.8%	37,000
前年比	54.8%	52.4%	55.4%	50.7%	24.8%	18.2%	12.5%	8.9%	0.3%	2.5%	-1.1%			-1.8%
売上総利益	6,031	12,957	21,192	28,933	7,428	14,943	23,254	30,714	7,162	14,881	22,426			
前年比	56.8%	53.7%	53.7%	253.7%	23.2%	53.7%	153.7%	253.7%	-3.6%	-0.4%	-3.6%			
売上総利益率	84.5%	84.8%	84.1%	83.6%	83.4%	82.7%	82.1%	81.5%	80.2%	80.3%	80.0%			
販管費	5,738	11,934	18,421	24,856	6,464	12,886	19,444	26,012	6,677	13,704	20,251			
前年比	72.5%	53.4%	51.4%	45.0%	12.7%	8.0%	5.6%	4.7%	3.3%	6.3%	4.1%			
売上高販管費比率	80.4%	78.1%	73.1%	71.8%	72.6%	71.3%	68.6%	69.0%	74.8%	74.0%	72.3%			
営業利益	293	1,023	2,771	4,078	964	2,057	3,809	4,701	484	1,177	2,175		76.3%	2,850
前年比	-43.7%	53.7%	89.2%	84.3%	228.4%	101.1%	37.5%	15.3%	-49.8%	-42.8%	-42.9%			-39.4%
営業利益率	4.1%	6.7%	11.0%	11.8%	10.8%	11.4%	13.4%	12.5%	5.4%	6.4%	7.8%			7.7%
経常利益	292	1,071	2,810	4,118	981	2,077	3,853	4,730	507	1,168	2,177		76.4%	2,850
前年比	-40.8%	76.7%	106.9%	96.6%	235.3%	93.9%	37.1%	14.9%	-48.3%	-43.8%	-43.5%			-39.7%
経常利益率	4.1%	7.0%	11.2%	11.9%	11.0%	11.5%	13.6%	12.6%	5.7%	6.3%	7.8%			7.7%
当期利益	138	676	1,838	2,580	678	1,433	2,651	3,306	257	741	1,100		73.3%	1,500
前年比	-52.6%	119.1%	133.2%	99.6%	390.9%	112.0%	44.2%	28.2%	-62.1%	-48.3%	-58.5%			-54.6%
当期利益率	1.9%	4.4%	7.3%	7.5%	7.6%	7.9%	9.4%	8.8%	2.9%	4.0%	3.9%			4.1%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

同社は迅速かつ確かな意思決定を行う体制の構築と業務の効率化を図るため、2016年8月1日付けでEC事業本部を新設する組織変更を実施した。これに伴い、2017年7月期より「ライフスタイルサポート事業」から「EC事業」を分離し、単独セグメントとしている。また、ライフスタイルサポート事業に属する結婚式場の情報・予約サイト「すぐ婚navi」は2016年11月8日にサイトリニューアルを実施し、サービス名称をハナユメに変更している。

このため、本レポートでは、今期実績および業績予想に係る部分については、「エンターテインメント事業」「ライフスタイルサポート事業」「EC事業」の3つからなる新区分で、それ以外の部分は、「エンターテインメント事業」「ライフスタイルサポート事業」の2つからなる旧区分でコメントを記載している。

セグメント別四半期業績 (百万円)	2017年7月期				2018年7月期				2019年7月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,136	8,147	9,906	9,412	8,904	9,165	10,270	9,336	8,927	9,597	9,504	
ライフスタイルサポート事業	2,653	2,953	3,990	3,746	3,954	4,313	5,581	5,108	5,173	5,191	6,013	
エンターテインメント事業	4,089	4,886	5,200	5,082	4,316	4,320	3,877	3,657	3,243	4,006	2,865	
EC事業	394	308	715	584	635	532	812	571	510	401	624	
営業利益	293	729	1,748	1,306	964	1,093	1,752	892	484	693	998	
ライフスタイルサポート事業	370	327	715	516	551	686	1,077	762	642	643	1,066	
エンターテインメント事業	302	807	1,440	1,270	865	885	1,199	639	274	611	372	
EC事業	-35	-46	-65	-32	-44	-68	-78	-21	-63	-68	-35	
主要費用項目												
広告宣伝費	3,432	3,551	3,623	3,410	3,600	3,866	3,730	3,609	3,931	3,980		
ライフスタイルサポート事業	1,547	1,728	2,230	2,040	2,302	2,472	2,973	2,637	2,959	2,972		
エンターテインメント事業	1,746	1,700	1,220	1,228	1,150	1,244	560	829	835	910		
EC事業	70	62	117	84	93	79	106	50	54	44		
人件費/採用費	872	935	931	1,066	1,025	1,089	1,195	1,443	1,435	1,463		
キャリア手数料/支払手数料	1,468	1,779	2,051	2,108	1,588	1,572	1,561	1,395	1,304	1,592		
外注費/サーバー費	254	297	315	331	532	518	620	605	605	646		
オフィス賃料	178	218	238	243	249	251	288	291	292	293		
その他	639	638	1,000	948	947	776	1,123	1,100	876	930		
期末人員数(人)	605	627	710	718	723	788	898	955	989	1,024		
ライフスタイルサポート事業	261	287	308	339	340	391	432	489	510	527		
エンターテインメント事業	247	245	258	264	263	268	279	313	327	340		
EC事業	32	33	41	46	47	52	59	62	60	59		
その他	65	62	103	69	73	77	128	91	92	98		

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

**ライフスタイルサポートの引越し関連事業で展開している引越し周辺サービス「エアコン取付け・取外し工事」などの外部委託費用については、2017年7月期までは「支払手数料」として計上していた。取引に対する同社および委託先の役割の変化を鑑み、外注委託に該当すると判断したため、2018年7月期より「外注費」として計上している。2018年7月期第1四半期における計上変更対象額は185百万円

2019年7月期第3四半期実績 (2019年6月14日発表)

- ▷ 第3四半期累計実績：売上高28,028百万円（同1.1%減）、営業利益2,175百万円（同42.9%減）、経常利益2,177百万円（同43.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,100百万円（同58.5%減）
- ▷ 2019年7月期業績会社予想：第3四半期決算実績の発表と同時に、下方修正*1
- ▷ 前年同期比1.1%減収：エンターテインメント事業とEC事業が減収となるも、ライフスタイルサポート事業が好調に推移
- ▷ 同42.9%営業減益：ライフスタイルサポート事業における新規事業への先行投資に加え、エンターテインメント事業における既存タイトルの利益寄与減少により減益
- ▷ 特別損失432百万円の計上*2：「三国BASSA!!」に係る開発費等に関連した減損損失298百万円、投資有価証券評価損134百万円
- ▷ 進捗率：2019年7月期通期業績会社予想修正値*に対する当第3四半期累計実績の進捗率は、売上高75.8%（2018年7月期実績に対する前第3四半期累計の進捗率75.2%）、営業利益76.3%（同81.0%）、経常利益76.4%（同81.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73.3%（同80.2%）。

*1 2019年7月期通期業績会社予想の修正 (2019年6月14日発表)

- ▷ 売上高：37,000百万円（前回予想40,000百万円）
- ▷ 営業利益：2,850百万円（同4,000百万円）
- ▷ 経常利益：2,850百万円（同4,000百万円）
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純利益：1,500百万円（同2,600百万円）
- ▷ EPS：76.89円（同131.70円）
- ▷ 1株当たり配当金：16.00円（同32.50円）

※同社は、株主への利益還元を重要な経営課題と位置付け、企業価値の持続的な向上と企業体質の更なる強化を目指しつつ、20%前後の配当性向で継続還元を行うことを基本方針としている。親会社株主に帰属する当期純利益の下方修正に伴い、株主還元方針に基づき、1株当たり配当金を修正

<業績予想修正の理由>

- ▷ 売上高：ライフスタイルサポート事業の売上高が期初会社予想を上回り推移しているものの、エンターテインメント事業およびEC事業の売上高が同予想を下回る推移となり、全体では売上高が同予想に対して未達で着地する見込み
- ▷ 営業利益、経常利益：主にエンターテインメント事業の減収に伴う利益の減少に加え、新規ゲームの開発に向けた人員の増加による利益寄与の減少およびEC事業の黒字化未達に伴い、期初会社予想を下回る見込み
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純利益：更に、当第3四半期において、「三国BASSA!!」に係る開発費等のソフトウェア資産を中心に432百万円の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が期初会社予想を下回る見込み

***1 特別損失432百万円の計上**

- ▷ 固定資産の減損損失298百万円：2018年5月21日にリリースしたゲームアプリ「三国BASSA!!」に係る開発費等において、投資回収の可能性が低いとの判断に至ったため
- ▷ 投資有価証券の評価損134百万円：簿価に比べて実質価格が下落したため

セグメント別業績動向

セグメント別の業績動向は以下の通りである。

ライフスタイルサポート事業

- ▷ 2019年7月期第3四半期累計期間における同セグメントの売上高は16,377百万円（前年同期比18.3%増）、セグメント利益は2,351百万円（同1.6%増）となった。
- ▷ 同セグメントの事業では、引越し関連、自動車関連、ブライダル関連、金融メディア等様々な事業領域において、個人の利用者に向けてサービスを展開する事業者と提携し、「三方よし」のサービス理念のもと、人生のイベントや日常生活に密着した比較サイト・情報サイト等様々なウェブサービスを展開している。個人の利用者は基本無料で利用でき、パートナー企業に見込客を紹介することに対する紹介手数料及び成約報酬が主な収益である。サブセグメントとして、引越し関連事業、自動車関連事業、ブライダル関連事業、金融メディア事業、その他がある。
- ▷ 2019年7月期第3四半期累計期間においては、ブライダル関連事業を筆頭に好調に推移した。ブライダル関連事業は、サービス名称変更後の認知度およびサービス信頼度向上に伴い送客件数が順調に増加し、売上高が大幅に増加した。各サブセグメントにおいて、既存事業の育成に加え、引き続き周辺サービスを拡充し、また、立ち上げ段階にある複数の新規サービスへの先行投資を計画通り行った。

注：2017年12月に子会社化したIncrements社については、2018年7月期第3四半期よりライフスタイルサポート事業に区分している。サブセグメントにおける「その他」には、Increments社が運用するプログラマ向けの技術情報共有サービス「Qiita（キータ）」、手軽に書けるチーム内情報共有ツール「Qiita:Team（キータチーム）」、女性向け生理日予想・体調管理アプリ「ラルーン」、その他新規サービスが含まれる

エンターテインメント事業

- ▷ 2019年7月期第3四半期累計期間における同セグメントの売上高は10,114百万円（前年同期比19.2%減）、セグメント利益は1,257百万円(同57.3%減)となった。
- ▷ 同セグメントでは、自社で開発したオリジナルスマートデバイス向けゲームアプリを、Apple Inc.が運営するApp Store およびGoogle Inc.が運営するGoogle Play等を配信する専用のプラットフォームを通じて提供している。ゲームアプリ自体は基本無料で提供し、ユーザーがゲームをより効率よく進めるためのアイテムを購入することで、そのアプリ内アイテム購入代金が主な収益となる。
- ▷ 2019年7月期第3四半期累計期間においては、既存ゲームアプリの売上高が減少傾向にある中、新規ゲームアプリ「少女☆歌劇 レヴュースタァライト -Re LIVE-」の国内版を2018年10月にリリースし、更に、グローバル版を2019年4月

24日にリリースした。しかし、国内外で収益寄与が限定的であったため、前年同期比19.2%減収、同57.3%減益となった。

EC事業

- ▷ 2019年7月期第3四半期累計期間における同セグメントの売上高は1,535百万円（前年同期比22.4%減）、セグメント損失は166百万円（前年同期は190百万円の損失）となった。
- ▷ 引き続き通期での黒字化に向けて、出荷効率の向上など、物流オペレーションを見直した結果、2019年3月の繁忙期においては単月黒字化を達成するなどの改善が見られた。今後も運営の最適化に向け、フルフィルメント*の強化を行っていく。
- ▷ 同事業では、国内外から仕入れた200種類以上の完成品自転車を自社で在庫を持ち、専属のプロ整備士により整備された完全組立自転車をオンラインで販売し、自宅まで配送する国内唯一の自転車専門通販サイトを展開している。
- ▷ 主な収益は自転車の販売代金である。
- ▷ 自転車通販サイト「cyma-サイマ-」は2013年12月にサービスを立ち上げて以来、フルフィルメント*強化のため、段階的に投資を重ねてきた。引き続き「自転車を買うならサイマ」というブランディングを目指している。

*ネット通販における受注管理、在庫管理、ピッキング、商品仕分け・梱包、発送、代金請求・決済処理等、通販ビジネスで最も重要なコアプロセス全般を指す。また、苦情処理・問い合わせ対応、返品・交換対応等のカスタマーサポートや顧客データ管理等の周辺業務も含まれる。

同日、同社は、特別損失の計上ならびに業績予想および配当予想の修正を発表した。

特別損失の計上

2019年7月期第3四半期において、特別損失432百万円を計上した。

- ▶ 固定資産の減損損失：2018年5月21日にリリースしたゲームアプリ「三国 BASSA!!」に係る開発費等において、投資回収の可能性が低いとの判断に至ったことから、減損損失298百万円を計上した。
- ▶ 投資有価証券の評価損：簿価に比べて実質価格が下落したため、投資有価証券評価損134百万円を計上した。

2019年7月期通期業績会社予想の修正

- ▷ 売上高：37,000百万円（前回予想40,000百万円）
- ▷ 営業利益：2,850百万円（同4,000百万円）
- ▷ 経常利益：2,850百万円（同4,000百万円）
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純利益：1,500百万円（同2,600百万円）
- ▷ EPS：76.89円（同131.70円）
- ▷ 1株当たり配当金：16.00円（同32.50円）

※同社は、株主への利益還元を重要な経営課題と位置付け、企業価値の持続的な向上と企業体質の更なる強化を目指しつつ、20%前後の配当性向で継続還元を行うことを基本方針としている。親会社株主に帰属する当期純利益の下方修正に伴い、株主還元方針に基づき、1株当たり配当金を修正

<修正の理由>

- ▷ 売上高：ライフスタイルサポート事業の売上高が期初会社予想を上回り推移しているものの、エンターテインメント事業およびEC事業の売上高が同予想を下回る推移となり、全体では売上高が同予想に対して未達で着地する見込み
- ▷ 営業利益、経常利益：主にエンターテインメント事業の減収に伴う利益の減少に加え、新規ゲームの開発に向けた人員の増加による利益寄与の減少およびEC事業の黒字化未達に伴い、期初会社予想を下回る見込み
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純利益：更に、当第3四半期において、「三国BASSA!!」に係る開発費等のソフトウェア資産を中心に432百万円の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が期初会社予想を下回る見込み

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp